


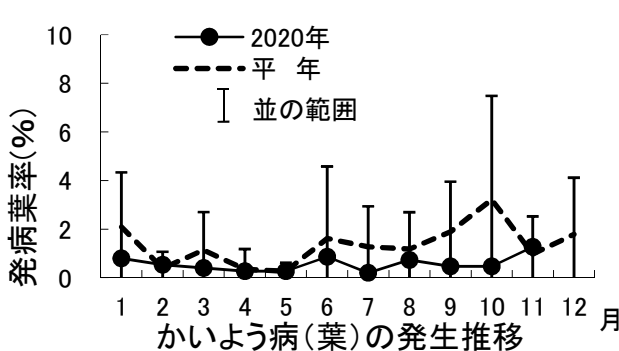
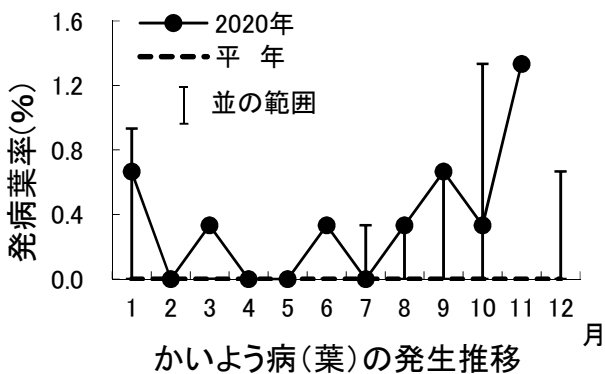
作物	かんきつ（温州みかん）		地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病			
調査結果	11 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	11 月からの増減傾向	↗		
	12 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

調査結果

（発病葉率）

〈中央値〉

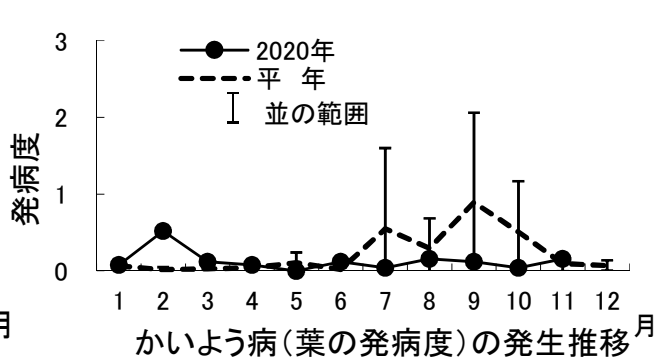
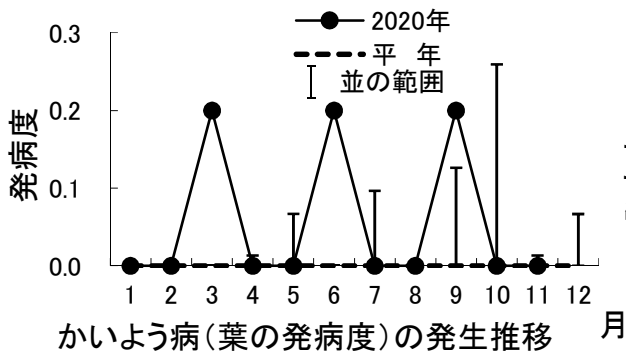
〈平均値〉



（葉の発病度）

〈中央値〉


〈平均値〉



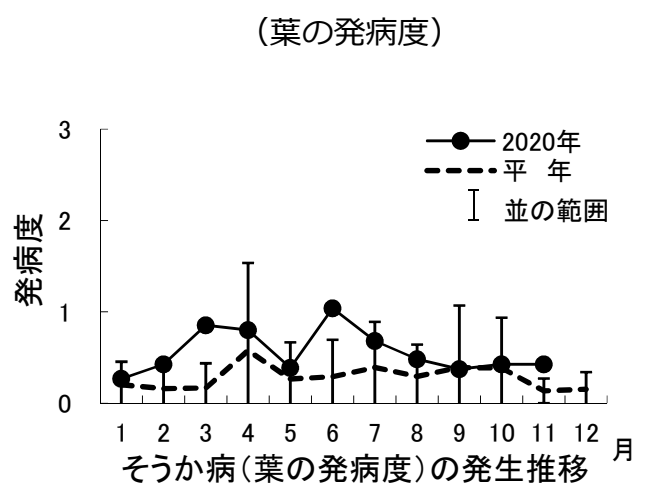
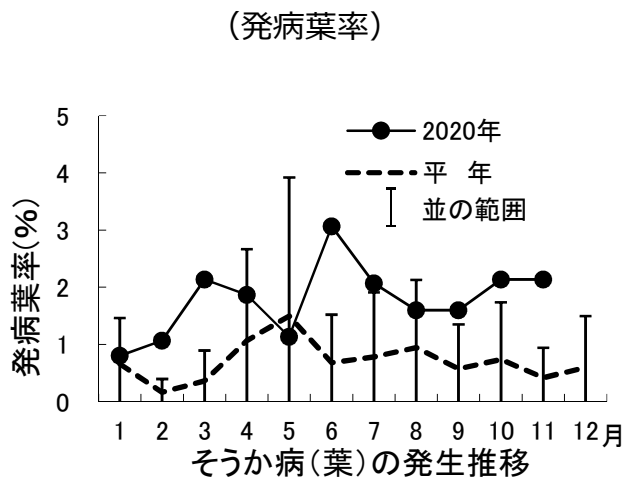
・ 発生ほ場率：100%（平年値：26.2%）

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	11 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	11 月からの増減傾向	→	
	12 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果




- ・ 発生ほ場率：60%（平年値：30.2%）

防除のポイント

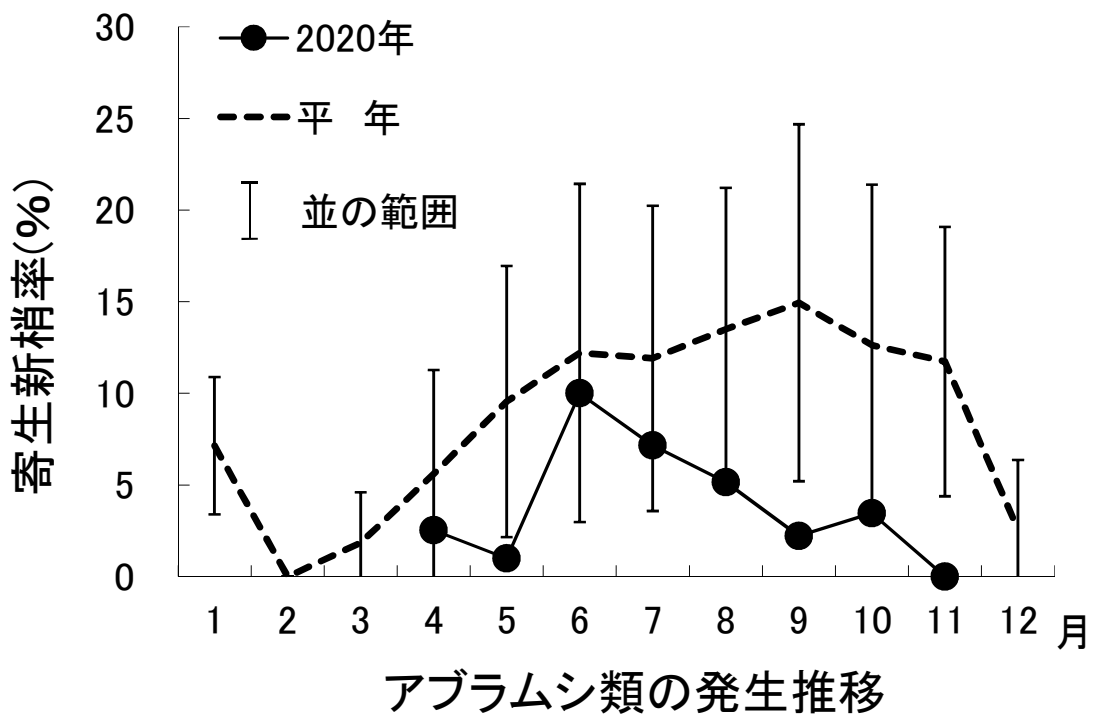
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害果→



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
調査結果	11 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	11 月からの増減傾向	→	
	12 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		新梢の発生量が減少するため	

調査結果




・ 発生ほ場率：0%（平年値：50%）

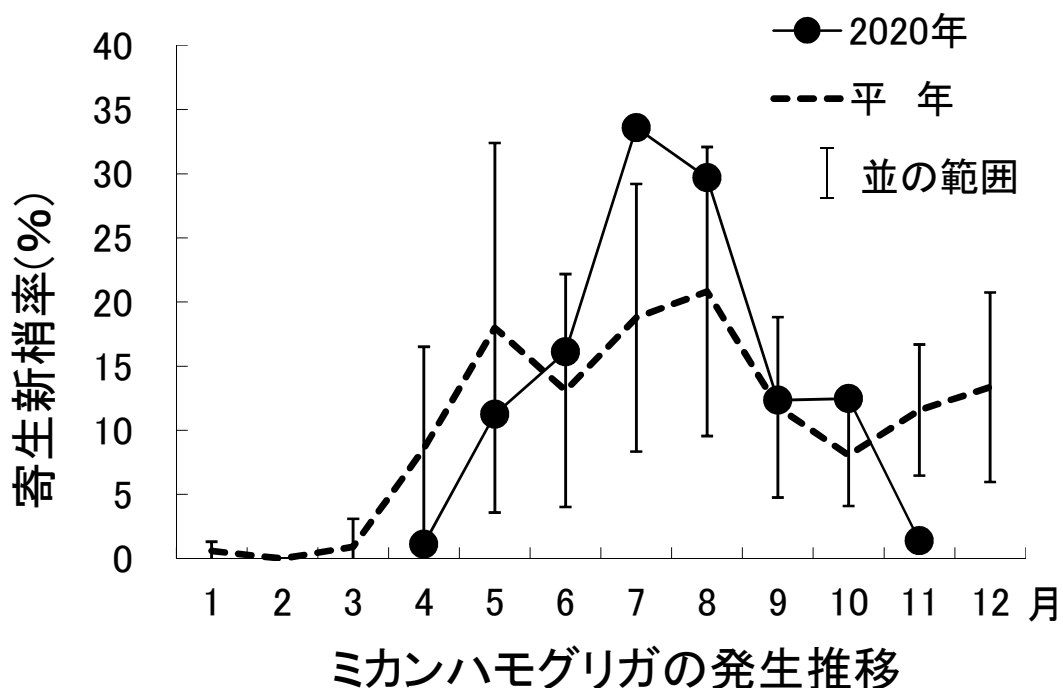
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（温州みかん）		地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ			
調査結果	11 月の発生量（平年比）	やや少		
予報	11 月からの増減傾向	↗		
	12 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		


調査結果



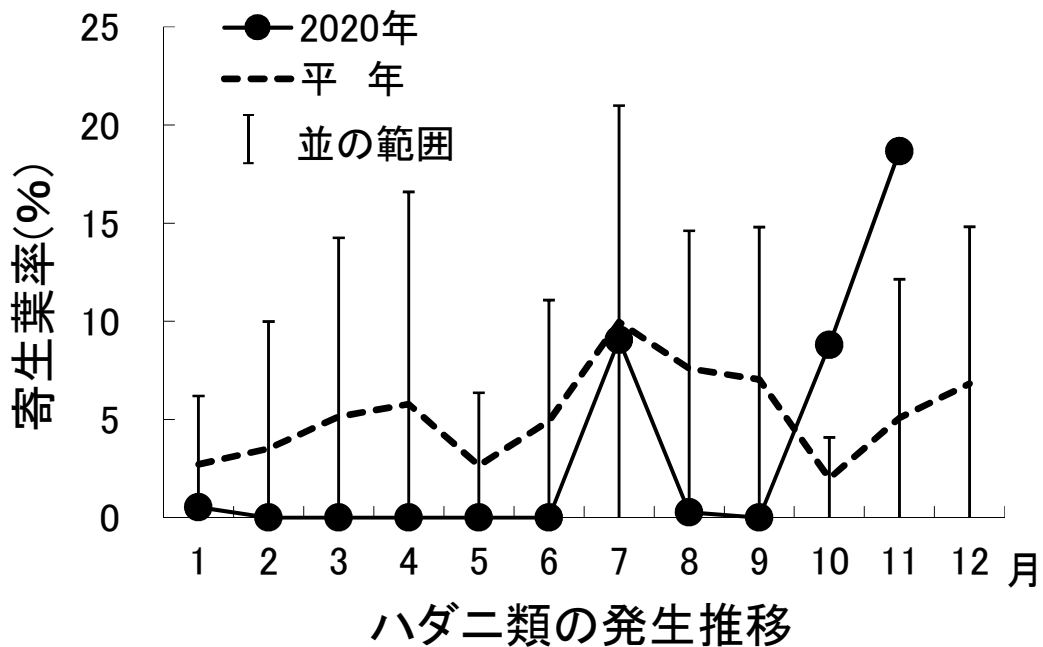
・ 発生ほ場率：25%（平年値：87%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（温州みかん）		地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類			
調査結果	11 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	11 月からの増減傾向	↗		
	12 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

調査結果



・ 発生ほ場率：100%（平年値：33.3%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状